

## ■ 第1回 本郷新記念札幌彫刻賞

### ○本郷新記念札幌彫刻賞について

札幌に生まれ、全国に数多くのモニュメントを制作した彫刻家・本郷新。1983年（昭和58年）にその功績を記念して全国のパブリック・アートを対象とした「本郷新賞」を創設し、それ以来、隔年で15回にわたって本賞を実施してきました。

今回、30年という節目を迎えたのを機に、「本郷新記念札幌彫刻賞」と名称を改め、新たに生まれ変わります。

本郷新は生前に「私を乗り越えて若い芸術家がどんどん生まれて欲しい」と語っていました。新たな賞は、その願いを受けて50歳未満の若い彫刻家を対象とします。受賞作は、札幌中心部に新設される大通交流拠点地下広場に約3年間設置。ここは毎日7万人もの人が往来する公共空間です。また、同時に本郷新記念札幌彫刻美術館において受賞作家の記念個展も開催します。

主催／札幌市、公益財団法人札幌市芸術文化財団

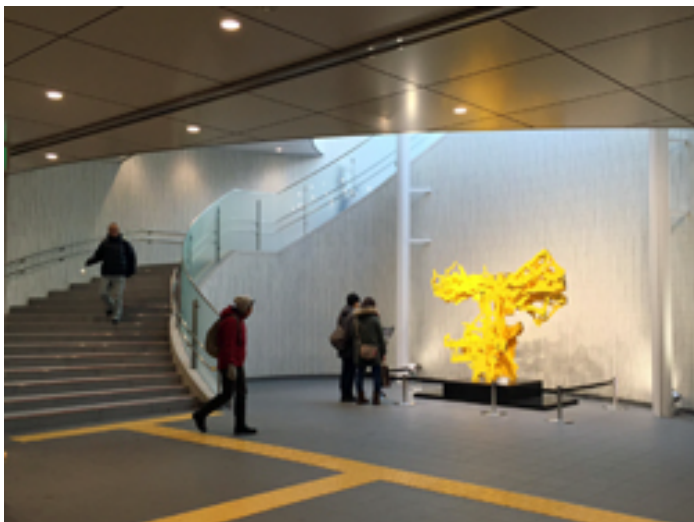
※札幌市ウェブサイト内「本郷新記念札幌彫刻賞」[http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/sapporo\\_sculpture\\_award.html](http://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/sapporo_sculpture_award.html)

第1回の受賞作品は谷口顕一郎氏（1976年生まれ、札幌市）の《凹みスタディー―琴似川北12条西20丁目―》に決定いたしました。



谷口顕一郎 《凹みスタディー―琴似川北12条西20丁目―》  
H290×W310×D140cm（※写真は1/10サイズの模型）

アルミニウム板、ステンレス、鉄、H型鋼  
(撮影：山岸せいじ)



設置風景（大通交流拠点地下広場）

- 賞  
本郷新記念札幌彫刻賞 100万円（3年間の作品借用料を含む）  
受賞記念展覧会作品制作費 50万円
- 選考委員会  
酒井 忠康（世田谷美術館館長）  
建畠 哲（京都市立芸術大学学長）  
植松 奎二（彫刻家）  
阿部 典英（美術家）  
佐藤 友哉（札幌芸術の森美術館館長）
- 申込×切  
2014年1月31日（金）必着  
一次選考（図面）2014年2月  
二次選考（模型）2014年6月
- 応募資格  
国内在住で2014年1月31日時点で50歳未満とします。国籍は問いません。  
個人、グループを問いません。
- 設置場所  
札幌市中央区大通西4丁目 大通交流拠点地下広場
- 設置期間  
2015年2月～2018年3月（予定）
- 応募作品規格
  - ・作品は未発表の立体作品に限ります。
  - ・作品の大きさは高さ3m×幅4.5m×奥行き1.5m以内とし、
  - ・重量は500kg/m<sup>2</sup>以下とします。ただし、台座の高さを含みます。
  - ・作品設置に伴う台座等は応募者に準備していただきます。
  - ・受賞作品は札幌市中央区の大通交流拠点地下広場に約3年間展示します。
  - ・不燃性かつ安全で破損等危険性のないものとします。
  - ・二次選考は、実物の1/10サイズの模型によって行います。

※上記規格に適していないと判断する場合は、選考の対象外とします。

●本郷新記念札幌彫刻賞の流れ（申込～作品展示）

- ①募集開始・・・・・・・・・・・・・・・・・・2013年8月～
- ②申込〆切（図面）・・・・・・・・・・2014年1月31日（金）必着
- ③一次選考（図面）・・・・・・・・・・2014年2月  
選考結果通知・・・・・・・・・・2014年2月
- ④模型作品搬入〆切・・・・・・・・・・2014年5月31日（土）
- ⑤二次選考（模型）・・・・・・・・・・2014年6月  
選考結果公表・・・・・・・・・・2014年6月  
表彰式・・・・・・・・・・2014年7月
- ⑥大通交流拠点地下広場作品展示・・・・・・・・2015年2月～2018年3月（予定）
- ⑦受賞記念展・・・・・・・・・・2015年4月中旬～2015年6月（予定）